

『『サステナビリティ（環境・社会）』に関する説明会』 主な質疑応答（要旨）

Q1 サステナビリティに関する取組みについて、この1年の進捗状況や新たに生じた課題などを教えてください。

- 「サステナブル中期計画 2023」で定めた目標達成に向けて、諸施策を推進しています。
- 全国ネットワークを有し、多くの内部・外部人材や貨物自動車、仕分け作業のためのマテハン機器などを活用して物流サービスを提供する当社グループの重要課題は、環境ではエネルギー・気候領域、社会では労働・人材領域となります。
- 本日は、このような重要課題を解決させていくため、サステナブル経営の全体像、環境戦略や人事戦略の概要と進捗状況についてご説明いたしました。引き続き、株主・投資家の皆様には、各課題に対する取組みの進捗と新たな課題などを適時適切にご説明差し上げる予定です。

Q2 脱炭素に対する顧客ニーズおよび、顧客への価値提供における優位性について、教えてください。

- 大規模法人顧客に対する意識調査の結果では約75%が「環境負荷が低い配送サービスがあれば積極的に利用したい」と回答しています。
- 現在、当社グループは、国際規格ISO14083:2023に準拠したGHG排出量可視化ツールを構築中ですが、このツールはヤマト運輸の輸送に伴うGHG排出量をより実態に即した形で算出できるため、優位性につながると考えています。
- 今後、当社グループは、輸送によるGHG排出量を可視化・削減することに留まらず、顧客のサプライチェーン全体を最適化し、無駄な在庫をなくすなど、物流の在り方を変革する支援を通じて、顧客への提供価値を高めるとともに、適正な対価をいただくことで収益性を向上させていきます。

Q3 パートナーとのエンゲージメントの課題を教えてください。

- ヤマト運輸に設置したパートナーシップ推進室を中心とした推進体制の下で、輸送パートナーとの定期的なコミュニケーションを実施しています。
- 物流の2024年問題も踏まえ、各パートナーにとっても働きやすい職場とすべく、ターミナル拠点の機能見直しと並行して、幹線輸送の集約、デジタルを活用したオペレーションの効率化を進めています。また、燃料費の高騰やトラックドライバーへの待遇向上の必要性等を踏まえ、パートナーへの適正な支払いに努めています。
- 伝票や資材等の主要サプライヤーについては、「ヤマトグループ 責任ある調達方針」「ヤマトグループ ビジネスパートナー行動ガイドライン」に基づき、モニタリングを開始していますが、特に環境対応については、企業によって取組状況に差があるため、当社グループとして必要な支援を検討・実施し、持続的な成長と持続可能な社会の実現に協働して取り組んでいきます。

Q4 デジタル人材をどのように採用・育成していくのか教えてください。

- 労働市場において、デジタル人材の需給はひっ迫しています。これまでの人事制度では競争力が十分ではなかったため、まずはヤマトシステム開発にて制度改正を行い、デジタル人材の確保・定着を図っています。
- 「ヤマトグループ 人材マネジメント方針」に基づき、デジタル領域を含む全社において、職務起点の人事制度・人材マネジメント体系を整備・運用していきます。

以 上